

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和3年3月4日（木）

【報告事項】

1 令和2年中のストーカー・DV事案への対応状況等について

（生活安全部）

警察本部から「ストーカー事案の相談等件数は1,625件で前年比177件減少し、検挙件数は212件で前年と同数となっている。また、DV事案の相談等件数は2,747件で前年比193件減少し、検挙件数は991件で前年と同数となっている。今後は、コロナ禍における適切な対処、警察本部と警察署の一層の連携強化、関係機関との連携強化による被害者保護対策の推進及びストーカー加害者等更生対策の更なる推進に取り組んでいく。」旨の報告があった。

公安委員から「ストーカー・DV事案への取組は、着実に成果が挙げられていると思われるが、DV事案と児童虐待事案には、家庭内で子どもや女性が被害者となる共通の構図があり、両者は密接に関連していることから、引き続き積極的な対策をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「警察本部と警察署の連携はもとより、関係機関との情報交換を的確に行うなど、DV等の問題がある家庭については、関係機関と連携を図り、今後とも迅速かつ的確に対応していく。」旨の説明があった。

公安委員から「ストーカー事案の加害者の年齢層に特徴はあるのか。ターゲットを絞った効果的な未然防止対策をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「ストーカー事案の加害者・被害者とも20歳代から40歳代が中心となっており、性別で見ると加害者の約8割が男性である。今後もこうした世代に対する積極的な広報啓発活動を推進していく。」「ストーカー・DV事案については、最悪の結果を招かないよう、積極的な事件化に努めていく。」旨の説明があった。

公安委員から「ストーカー・DV事案の相談件数が減少した要因は何か。」旨の発言があり、警察本部から「減少した要因は明らかではないが、新型コロナウイルス感染症の影響により潜在化している可能性も念頭に、日頃から前兆事案も含めて積極的に対応していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「ストーカー・DV事案は、事態が急展開することを踏まえ、悲惨な事件が起きないように、万全な対策をお願いする。」旨の発言があった。

2 令和2年におけるサイバー犯罪の情勢について

（生活安全部）

警察本部から「令和2年におけるサイバー犯罪に関する相談件数については、4,235件と過去最多であり、前年比で1,130件増加している。検挙件数については338件であり、前年と同数となっている。今後は、サイバー犯罪に係る情報収集・分析の強化、効果的な被害防止対策と部門横断的な捜査の推進及び専門能力の高い人材の育成と対処能力の高度化の推進に取り組んでいく。」旨の報告があった。

公安委員から「架空請求などの迷惑メールを送り付ける行為は、組織的に行われているのか。不特定多数の人に対して執拗に送信され、少なからず被害が出ていると思われることから、積極的な対策をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「迷惑メールの送信は、組織的に行われているとみている。また、被害が不特定多数人かつ対象地域も広域に及ぶことから、国や各都道府県警察と緊密に連携し、各種情報を共有しながら対処していく。」旨の説明があった。

公安委員から「最近キャッシュレス決済の利用者が増加するなど、世の中が便利に

なっていく反面、利便性を逆手にとった犯罪も発生していることから、関係機関等と連携した未然防止対策をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「新たなネットワークサービスを悪用した犯罪についても、未然防止対策はもちろん、積極的な事件化を図っていく。」旨の説明があった。

3 飯塚市伊川における小学男児変死事案の発生について

(刑事部)

警察本部から「2月25日、飯塚警察署員が飯塚市伊川において自宅内で死亡している小学男児を発見した。また、死亡した男児と同居していた父親の行方を捜索していたところ、翌2月26日、父親が鹿児島県内で子ども2人と無理心中を図り、子ども2人の死亡が確認された。父親は入院治療中である。」旨の報告があった。

公安委員から「大変痛ましく悲しい事件であり、事案発生の要因が何であったのかなど、今後の捜査において全容解明をお願いする。」旨の発言があった。

4 糟屋郡篠栗町における保護責任者遺棄致死等事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「粕屋警察署及び捜査第一課は、当時5歳の被害者の食事量及び回数を減らし、多数回にわたり食事を一切与えず、被害者が重度の低栄養状態になっていたにもかかわらず、十分な食事を与えずに放置し、令和2年4月18日に飢餓死させた保護責任者遺棄致死等事件について、3月2日、被害者の実母及びその知人女性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「昨年4月に事件が発覚して以降、捜査が長期間に及んだ理由は何か。」旨の発言があり、警察本部から「特異な事件であり、適用罪名等について検察庁と協議を重ねたほか、公判を見据えたし密な各種捜査を徹底したことから、長期間を要した。」旨の説明があった。

公安委員から「本件については、社会的な関心が高く、様々な報道がなされているところであり、今後の捜査において全容解明をお願いする。」旨の発言があった。